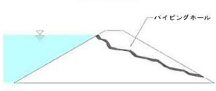
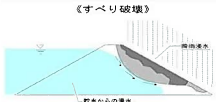
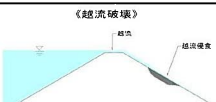


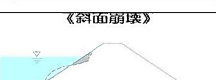




＜豪雨によるため池の被災メカニズム＞

被災形態	被災メカニズム
《浸透破壊》 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する場合があります。
《すべり破壊》 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し破壊する場合があります。
《超流破壊》 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し破壊する場合があります。

＜地震によるため池の被災メカニズム＞

被災形態	被災メカニズム
《クラック》 	堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
《沈下》 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生している。
《斜面崩壊》 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合がある。
《斜面すべり》 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
《崩壊》 	堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

日頃からため池を管理しましょう

■ため池の草刈

- ◆ 堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で妨げになります。年に数回程度は草刈りをしましょう。また樹木類は幼木のうちに必ず伐採しましょう。

■漏水の確認

- ◆ 漏水等の確認のため定期的な巡視を行いましょう。漏水があっても直ちに危険ということにはなりません。堤体材料が混じった濁りが見られた場合は特に注意が必要です。貯水位を下げ町へ相談してください。

■余水吐の管理

- ◆ 余水吐はため池の規定水位を保つため施設であるため、余水吐に土のうや角落とし等で堰上げをし、貯水量を増大することはため池の決壊を招く恐れがありますので、絶対にやめましょう。また、余水吐に流木や浮遊ゴミがある場合や草等が茂っている場合は、洪水の流れを妨げますので除去しましょう。

■貯水位の適正な管理

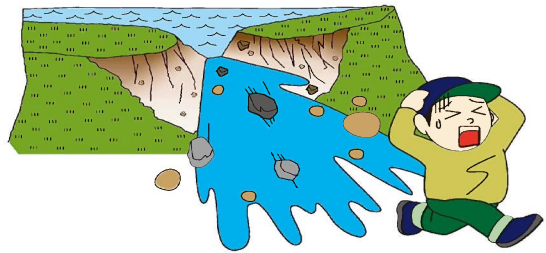
- ◆ 長期間にわたり落水していると堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に貯水位を上昇させると浸透水で破堤する場合があります。逆に満水状態から急激に貯水位を低下させると堤体がすべりを起こすことがありますので適正な管理をしましょう。

異常に気がいたら**奈義町役場**へ連絡してください。

(0868) 36-4111

※ため池の異常にいち早く報告してくれる
ため池管理人が必要！

ため池の決壊



地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、また降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、災害の危険性が高くなります。浸水対策を含め、十分な警戒が必要です。

地震による決壊は、地震の揺れを原因として一気に起こる場合と、しばらく時間が経過した後起こる場合があります。

※大雨の時は、河川の氾濫や河川堤防の決壊、土砂災害も同時に起きる可能性があります。

災害時の備え・注意点

家庭内では

- 気象情報や、防災関係機関等の広報をよく聞いておきます。
- 状況によって、遠出や外出は中止します。
- 避難場所について再確認します。
- 勤務先にいる家族などと連絡をとり、非常時に備えます。
- 家財道具・食料品・布団・衣服など生活に欠かせないものを、安全な場所へ移動します。



用意しておくものは

- 3日以上以上の非常食（調理不要なカップ麺やレトルト類）、飲料水を用意して、断水や濁り水に備えます。
※飲料水は乳幼児や病人がいる家庭では特に必要です。
- 懐中電灯を家族にに応じて準備します。また、正しい情報を聞くためにラジオの用意もします。
※予備の電池も忘れずに。
- 大工道具も用意しましょう。



事前の情報収集で、余裕を持った行動をしましょう！